



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第1学年	英語	4	140	東京書籍	A1ドリル 配付プリントファイル 授業用ノート

学習の目標	【目標】	<p>1. はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>2. 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。</p> <p>4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p> <p>5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</p>
	【ポイント】	<p>&lt;聞くこと&gt; 必要な情報→聞き取る、話の概要→聞き取る、説明の要点→捉える</p> <p>&lt;話すこと（やり取り）&gt; 関心のある事柄→即興で伝え合う、日常的话题→考えや気持ちを整理して質問に答える、社会的な話題→考えたことや感じたことを述べ合う</p> <p>&lt;話すこと（発表）&gt; 関心のある事柄→即興で話す、日常的话题→考えや気持ちを整理して話す、社会的な話題→考えたことや感じたことを話す</p> <p>&lt;読むこと&gt; 簡単な語句や文で書かれたものの必要な情報→読み取る、日常的话题について短い文章の概要→捉える、社会的な話題について短い文章の要点→捉える</p> <p>&lt;書くこと&gt; 関心のある事柄→正確に書く、日常的话题→考えや気持ちを整理して書く、社会的な話題→考えや気持ち、理由を書く</p>

評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解しよう。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、小テスト（単語テスト他）、パフォーマンステスト（会話テスト、スピーチ等）、授業中の発言内容や活動に取り組む姿勢から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末
		2学期末	

学習の方法と流れ	<p>① 1分間黙想 ② 本時のめあての確認</p> <p>③ 帯活動（対話活動、単語テスト、基本文英作文など）</p> <p>④ 既習事項（小学校で習った表現を含む）の復習</p> <p>⑤ 教科書本文の内容理解（概要をつかむ、新出語句、音読など）</p> <p>⑥ 文法の意味・用法をおさえる</p> <p>⑦ 文法の習得・活用（リスニング、コミュニケーション活動、英作文など）</p> <p>⑧ まとめ</p>	<p>※週に1回程度、ALTを活用した、コミュニケーション活動中心の授業を設定する。</p>
----------	--	--

授業進度予定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	Unit 0 Welcome to Junior High School ～Grammar for Communication 3	Unit 5 A Japanese Summer Festival ～Small Talk! 1	スプリングコンテスト（英単語100問テスト）に向けた練習 他
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	Unit 6 A Speech about My Brother ～Grammar for Communication 6	Unit 9 Think Globally, Act Locally ～Small Talk! 2	スプリングコンテスト（英単語100問テスト）に向けた練習 他
	3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	Unit 10 Winter Vacation ～Unit 11 This Year's Memories	Let's Talk 4 レストラン ～Let's Read 2 City Lights	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第1学年	音楽	1.3	45	音楽・器楽：教育芸術社	コーラスフェスティバル（合唱曲集） 配付プリント ノート A1ドリル

学習の目標	【目標】	さまざまな音楽活動を通して、音楽を愛好する心情や豊かな情操を育み、表現することの喜びを味わう。
	【ポイント】	・学習規律の定着 ・音楽の基本的な技能を習得する ・音楽を愛好する心情を育てるため、幅広い音楽活動を経験する

評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表そう。
	思考力・表現力 判断力	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴こう。
	主体的に学習に 取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もう。

評価の方法	「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」は歌唱・器楽・鑑賞の実技テストや鑑賞プリント等で評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」は、授業中の態度や取り組み方、振り返りカードの内容と忘れ物等で評価する。		実施テスト	
			単元テスト	

学習の方法と流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習確認</li> <li>・本時のめあての確認</li> <li>・「歌唱」正確な音程の把握→音符・記号の読み取り→表現の工夫</li> <li>・「器楽」基本的な技能の習得→音符の読み、音階の確認→美しい音色で演奏できるよう工夫する</li> <li>・「鑑賞」曲の情景や作曲者の心情を感じ取る、作曲家や時代背景を知る</li> <li>・「創作」音符・記号・音階を学習し、簡単な旋律をつくる</li> <li>・本時の学習の反省</li> </ul>
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト（6月）		1学期末テスト～1学期終業		夏季休業中の宿題	
	「歌唱」	校歌 長崎市歌 We'll Find The Way	「鑑賞」	春	合唱コンクールの楽曲の練習	
	「器楽」	アルトリコーダーLesson 1	「歌唱」	合唱コンクールの楽曲		
	2学期始業～2学期末テスト（11月）		2学期末テスト～2学期終業			
	「歌唱」	合唱コンクールの曲	「歌唱」	浜辺の歌	クラシック曲の音楽鑑賞	
	「鑑賞」	魔王		赤とんぼ		
			「器楽」	聖者の行進		
	3学期始業～学年末テスト（2月）		学年末テスト～3学期修了まで		春季休業中の宿題	
	「器楽」	箏 さくらさくら	「創作」	マイメロディー		
「鑑賞」	箏曲「六段の調」					
	平調「越天楽」					



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第1学年	家庭分野	1	35	開隆堂	A1ドリル 配布プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	①家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活の自立に必要な基礎的内容を理解し、それらに係る技能を身に付けよう。 ②家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養おう。 ③身に付けた資質・能力を活用し、自分と家族、家庭生活と地域との関わりを見つめ直し、協働して生活を工夫しようとする実践的な態度を養おう。
	【ポイント】	①授業のけじめをつける。聞く・書く・考える・実習のけじめをつけよう ②ノートはきちんととる。板書事項は必ずノートにとり、プリントは貼りましょう ③製作・実習の計画は綿密に。必要な道具や材料、行程など細部にわたって計画を立てよう ④製作・実習は安全に気をつける。机上の整理をし、計画的かつ安全に勧めよう ⑤定期考査・小テストは計画的に。教科書やノートを見直し、知識の定着を図りましょう。 ⑥生活に活かす。学習したことを自分の生活に活かしましょう。「生きる力」につながります。

評価の観点	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しよう。

評価の方法	・1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。 ・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。 ・テスト成績、実技実習の技能、作品の内容や製作過程の取り組み、ノートやワークの記述内容、授業中の発言内容や行動観察（含：宿題）、レポートによる表現力、課題に対するアイデア、実践での内容、生活を改善しようとする意欲を観点別に評価します。（観点の評価を参照）	実施テスト	
		1学期末	2学期末

学習の方法と流れ	① 2分前黙想    ② 本時の授業の流れ確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容 課題の把握、解決や改善のための考察、実習<実践>または、言語活動 ・課題の発見、把握 ・課題解決や改善のための考察 ・実習<実践>または言語活動<自分の考えを伝える・アドバイスするなど> ⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。 *学校で学習したこと、やったことを活用し、家庭で実践する。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	【食生活】 食事の役割と食習慣 中学生に必要な栄養を満たす食事 さまざまな食品とその選択	【食生活】 日常食と調理	・衣生活に関わる作品づくり
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	日常食と調理 【食生活】 地域と食文化 献立作り 日常食の調理	【食生活】 日常食と調理 生活の課題と実践	・衣食住についての課題と実践①
3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題	
【食生活】 生活の課題と実践 持続可能な食生活	【衣生活】 目的に応じた衣服の選択	・家の手伝いをする	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第1学年	技術分野	1	35	東京書籍 新しい技術・家庭 技術分野	配付プリント A1ドリル

学習の目標	【目標】	① 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
	【ポイント】	① 授業の約束三カ条を徹底しよう。      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ めあてとまとめを常に意識しよう。 ④ 実習は、自分自身と周囲の安全に十分心がける。      ⑤ 観察実験の気づき・疑問、そして考察を文章で書けるようになるろう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。      ⑦ 提出物は期限を守ろう。      ⑧ 工具・機械・PCは大切に扱おう。

評価の観点	知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	思考力・表現力 判断力	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実習の技能、プリントの記述内容、授業中の発言内容や行動観察（含：宿題）から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト		
			1 学期末	2 学期末

学習の方法と流れ	① 2分前着席・1分間黙想    ② 忘れ物確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容：実習・観察・整理 *観察・実習方法を予習しておくが良い。 ⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ 演習等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 ⑦ 実習等の遅れが出た場合、技術室やPC室に教師がつける場合は、昼休みや放課後に作業を行い遅れを取り戻す。  *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行う。
----------	--

授業 進 度 予 定	1 学期始業～1 学期末テスト（6月）		1 学期末テスト～1 学期終業		夏季休業中の宿題	
	技術分野のガイダンス	技術分野の学習の見通し	【材料と加工】 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>	
	【情報】	情報の技術の原理・法則と仕組み				
	2 学期始業～2 学期末テスト（11月）		2 学期末テスト～2 学期終業		冬季休業中の課題	
	【材料と加工】	材料と加工の技術による問題解決	【材料と加工】	材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>	
	3 学期始業～学年末テスト（2月）		学年末テスト～3 学期修了まで			
【材料と加工】	材料と加工の技術による問題解決 社会の発展と材料と加工の技術	【情報】	双方向性のあるコンテンツの プログラミングによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>		



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第1学年	国語	4	140	国語:光村図書 書写:教育出版	漢字ドリル 漢字練習ノート・便覧 A1ドリル

学習の目標	【目標】	①語彙の習得、漢字・言葉のきまり等の学習を通し、適切に使っていく力を身につけよう。 ②伝え合う力を高め、思いやりや考えを広げたり深めたりする力を養おう。 ③言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする力を高めよう。			
	【ポイント】	①授業中のけじめ(聞く・書く・考えるの区別)      ②ノートをしっかりと取ろう。      ③今日のめあてを常に意識しよう。 ④わからない言葉は辞書を引く習慣をつけよう。      ⑤提出物は期限を守ろう。 ⑥復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。      ⑦質の良い本を選んで、積極的に読書をしよう。			

評価の観点	知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使おう。
	思考力・表現力 判断力	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしよう。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとするとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おう。

評価の方法	1 知識・技能(全体の3分の1) 漢字テスト、定期テスト、文法、書写など 2 思考・判断・表現(全体の3分の1) スピーチ、教科書の朗読、暗唱テスト、授業時に書いた作文、テストの中の回数限定作文、課題作文、定期テストなど 3 主体的に学習に取り組む態度(全体の3分の1) 授業態度、発表、忘れ物、提出物、授業ノートなど	実施テスト	
		1学期末	9月実力
		2学期末	1月実力
		学年末	
		小テスト	

学習の方法と流れ	①教材を授業前に準備し、机に置いて2分前着席。忘れ物は、授業前に言う。 ②黒板に書かれたことをノートに写す。(メモ欄に言葉を増やす) ③授業で配布したプリントは全てノートに貼ったりファイルに綴じたりする。 ④自分の考えを挙手により発表する。 ⑤わからない言葉はすぐ辞書で引く。
----------	--

授業進捗予定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	「朝のリレー」「シンジュン」 「ダイコンは大きな根?」 作文、漢字、書写	「ちょっと立ち止まって」 作文、書写、詩、文法	書写 読書感想文
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	「星の花が降るころに」 「言葉をもつ鳥、シジュウカラ」 書写、作文、話し合い	「いろは歌」「竹取物語」 「不便の価値を見つめなおす」 書写、作文、漢字	書写
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	「少年の日の思い出」 書写、文法、作文、表現技法、漢字	表現技法、漢字、書写	なし



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第1学年	社会	3	105	教科書 東京書籍 地図帳 帝国書院	ノート・資料集 A1ドリル

学習の目標	【目標】	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
	【ポイント】	①授業中のけじめ(聞く・書く・考える行動の区分)②ノート・ワークシートにしっかり記入する。 ③今日のめあてを意識して授業に参加する。 ④今日の授業のまとめを説明できるようにする。 ⑤復習をし、計画的なテスト勉強をする。ワーク等 ⑥提出物の期限を厳守する。

評価の観点	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめよう。
	思考力・表現力 判断力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論しよう。
	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しよう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に学期末に評定する。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>・右記のテスト成績、資料活用の技能、ノートやワークシートの記述内容授業中の発言内容、提出物等の状況から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
			2学期末
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末
		小テスト	単元テスト

学習の方法と流れ	① 2分前着席 1分前黙想 ② 禅師の学習内容の確認(復習) ③ 本時のめあての確認 ④ 重要語句の説明と板書 ⑤ 重要語句の理解と確認(ワークシート等) ⑥ 発展課題の取り組み ⑦ 教科書の重要なところにラインをひく。 ⑧ 黒板・ワークシートにかかれた内容から学習を振り返る。 ⑨ 自己評価の記入
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	歴 歴史のとらえかた 古代までの日本(~古墳時代) 地 世界の姿 日本の姿	地 世界各地の生活と環境	既習内容のワーク(提出)
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	歴 古代までの日本(飛鳥~平安中期) 地 世界の諸地域(アジア州) 歴 中世の日本(平安末期~鎌倉文化) 地 世界の諸地域(ヨーロッパ州)	地 アフリカ州・北アメリカ州	既習内容のワーク(提出)
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	地 世界諸地域(南アメリカ州・オセアニア州) 国別調べ学習 地域調査の手法 歴 鎌倉末期~室町戦国時代	歴史・地理の総復習	1年生で学習内容の復習



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第1学年	数 学	4	140	大日本図書	AIドリル(chromebook) 配付プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ(聞く・書く・行動の区別)      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ 毎日の学習で理解できなかった部分は、その日のうちに理解しよう。      ⑤ 図形やグラフ等、細かい部分を意識して学習しよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)      ⑦ 提出物は期限を守ろう。      ⑧ テストの訂正ノートを作ろう。

評価の観点	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な原理や法則などを理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
	思考力・表現力 判断力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>・右記のテスト成績、課題への取組方、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
			2学期末
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末

学習の方法と流れ	① 2分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本時のめあての確認
	④ 授業内容:導入・解法例・演習・発展学習・強化問題 単元問題演習:小グループ内で教え合いながら、相互の学力向上を図る。 ⑤ まとめ 授業で分かったことを確認する。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ AIドリル等の問題で計算の正確性と速度を向上させる。 *欠席した場合は、その単元の学習内容を自主的に学習する。 *分からない問題がある場合に、どのように解決するのか、自分なりの方法を準備しておく。

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト(6月)	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	1章 正負の数 2章 文字と式 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	3章 方程式 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク
	2学期始業～2学期末テスト(11月)	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	3章 方程式 4章 比例と反比例 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	5章 平面図形 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク
	3学期始業～学年末テスト(2月)	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	6章 空間図形 7章 データの分析と活用 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	1年間のまとめ 総復習 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第1学年	美術	1.3	45	日本文教	ワークシート スケッチブック デザインセット A1ドリル

学習の目標	【目標】	①自分の意図に応じて、形や色、材料などを工夫して表すことができるようになろう。 ②美術や美術文化についての見方や感じ方を広げよう。感じたこと、考えたことをもとに主題を決め、発想を広げよう。 ③表現や鑑賞などに一生懸命取り組むことで、美術の楽しさ、面白さを発見しよう。
	【ポイント】	・道具の基本的な使い方を覚え、正しく使う。 ・対象を捉える時、形や色、材料などに注目し、どんな感じがするかや、作者の意図や工夫を考える。 ・たくさんアイデアスケッチをし、よりよいものを考えていく。 ・よりよい作品作りに向けて、自分で資料を集める。 ・忘れ物をしない。計画的に制作し、提出期限をしっかりと守る。

評価の観点	知識・技能	一対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。一表現方法を創意工夫し、創造的に表そう。
	思考力・表現力 判断力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>作品、ワークシートの記述内容、右記のテスト成績、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		小テスト	

学習の方法と流れ	①2分前黙想 ②出欠確認、忘れ物や宿題の確認 ③前時の振り返り ④本時のめあての確認
	⑤授業内容: 作品制作・鑑賞 【作品制作】描く活動・つくる活動がある。主題を考え、工夫をして表現する。途中で相互鑑賞し、よさを学び合うこともある。 【鑑賞】自分たちが作った作品の相互鑑賞会や美術家の作品鑑賞をする。感じたことを話し合ったり、よさを伝え合ったりする。 ⑥片付け、まとめ *発想を広げるためや、描くための参考になる画像資料は、自分で積極的に集めておくと、作品づくりがスムーズです。 *デザインセットには、筆をふくためのタオルを入れておきましょう。

授業進度予定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	オリエンテーション スケッチを楽しもう 色の基礎・基本を学ぼう	すてきに文字をデザインしよう (鑑賞会)	ポスターをつくろう
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	いろいろな表現技法 一枚の絵から(鑑賞) 手から広がる世界	手から広がる世界 (鑑賞会)	
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	さわって感じる立体の世界(鑑賞) 立体に表す楽しみ「じっくり見ると見えてくる」	立体に表す楽しみ「じっくり見ると見えてくる」	





学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第1学年	保健体育	3	105	東京書籍	保健体育ノート A1ドリル

学習の目標	<p>①運動の合理的実践を通して、運動の楽しさやできた時の喜びを味わうとともに、技能を高めよう。</p> <p>【目標】 ②運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の発達を図ろう。</p> <p>③運動における競争や協同の経験を通して、公正、協力し事故の役割をはたし、安全に運動しよう。</p>
	<p>① 授業中のけじめ (2分前着席、1分前黙想) ② 分離令を心掛け、元気な挨拶をしよう ③ 本日のめあてを意識しよう</p> <p>【ポイント】 ④ 自分の課題を見つけ、課題解決方法を考えよう。 ⑤ 仲間と協力し準備や片づけをしよう</p> <p>⑥ 本日の目当てが達成できたか、班活動で確認しあい、アドバイスができるようにしよう。 ⑦カードやワークの提出物は確実にしよう</p>

評価の観点	知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けよう。また、個人生活における健康-安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えよう。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もう。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実技の技能、カードの記述内容、授業中の発言内容や行動観察から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		1学期末	2学期末
		学年末	

学習の方法と流れ	① 1分間黙想      ② 挨拶      ③ 出席確認・健康観察      ④ 本日のめあて確認      ⑤ ランニング・準備運動
	⑥ 授業内容:実技、観察、考察、(アドバイスや課題を再確認)      班活動、再度実技、班反省、カード記入
	⑦ まとめ(発表)      ⑧ 整理運動      ⑨ 健康観察      ⑩挨拶

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	陸上競技 短距離走とリレー 体づくり 保健	水泳 器械運動(マット運動)	オリンピックに関するレポート
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	柔道 バレーボール 保健	柔道 バレーボール	
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	バスケットボール サッカー 保健	バスケットボール サッカー 保健・体育理論	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第1学年	理科	3	105	東京書籍	A1ドリル 配付プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	① 自然の事物・現象について、日常生活との関連から興味関心を高め、理科を学ぶことの意義を実感しよう。 ② 観察・実験の基本操作を習得し、科学的に調べる方法を身に付け、結果から考察できる力と発表する力を養おう。 ③ 自然現象について理解を深め、知識を身に付け、科学的に探究する力を高めよう。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ(聞く・書く・行動の区別)                      ② ノートをしっかりと取ろう。                      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ 観察実験は、まず予想を立てて取り組もう。                      ⑤ 観察実験の気づき・疑問、そして考察を文章で書けるようになるよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)                      ⑦ 提出物は期限を守ろう。                      ⑧ 理科室の機器は大切に扱おう。

評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な事項や原理・法則を理解し、科学的に探究するために、観察や実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けよう。(発言・記述内容・行動観察・パフォーマンステスト・ペーパーテスト・宿題 等)
	思考力・表現力 判断力	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しを持って観察実験を行い、得られた結果を分析し解釈し、表現するなど科学的に探究しよう。(発言・ノート記述内容・ワークシート・ペーパーテスト・レポート作成 等)
	主体的に学習に 取り組む態度	自然の事物・現象に進ん関わり、見通しを持って振り返ったりするなど科学的に探究しよう。(発言・ノート記述内容・ワークシート・行動観察・宿題 等)

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実験観察の技能、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
			2学期末
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末
		小テスト	単元テスト

学習の方法と流れ	① 2分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容:実習・観察・実験・計算練習・整理 *観察・実験方法を予習しておく和良好的。 【観察・実験】(理科室)自然の事物現象について、体験的に学習する。 【観察・実験の結果】結果をグループで整理する。→【観察・実験の考察】まず個人で考察し、グループや学級でディスカッションする。 ⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。(次の時間:答え合わせ) *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行ってほしい。
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	1章:生物の観察と分類の仕方 【生物】 2章:植物の分類 3章:動物の分類 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	1章:身のまわりの物質とその性質 【化学】 2章:気体の性質 ガスバーナー 3章:水溶液の性質 濃度の計算 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	・ワーク ・自由研究 ・1学期の復習:プリント
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	【化学】 4章:物質の姿と状態変化 1章:光の世界 【物理】 2章:音の世界 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	3章:力の世界 【物理】 作図 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	・ワーク ・2学期の復習:プリント
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	【地学】 1章:火をふく大地 2章:動き続ける大地 演習問題・小テスト	【地学】 3章:地層から読み取る大地の変化 1年間の復習・ワークを完全に仕上げる 単元のまとめ・単元テスト	・ワーク(解き直し) ・1年間の復習:プリント *4月の実力テストに向けて



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第2学年	英語	4	140	東京書籍	A1ドリル 配付プリントファイル 授業用ノート

学習の目標	【目標】	<p>1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。</p> <p>2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。</p> <p>3. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</p> <p>4. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。</p> <p>5. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。</p>
	【ポイント】	<p>&lt;聞くこと&gt;必要な情報→聞き取る、話の概要→聞き取る、説明の要点→捉える</p> <p>&lt;話すこと（やり取り）&gt;関心のある事柄→即興で伝え合う、日常的な話題→考えや気持ちを整理して質問に答える、社会的な話題→考えたことや感じたことを述べ合う</p> <p>&lt;話すこと（発表）&gt;関心のある事柄→即興で話す、日常的な話題→考えや気持ちを整理して話す、社会的な話題→考えたことや感じたことを話す</p> <p>&lt;読むこと&gt;簡単な語句や文で書かれたものの必要な情報→読み取る、日常的な話題について短い文章の概要→捉える、社会的な話題について短い文章の要点→捉える</p> <p>&lt;書くこと&gt;関心のある事柄→正確に書く、日常的な話題→考えや気持ちを整理して書く、社会的な話題→考えや気持ち、理由を書く</p>

評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解しよう。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしよう。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう。

評価の方法	<p>・ 1、2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</p> <p>・ 学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</p> <p>・ 定期テスト（右記の5つ）、パフォーマンステスト、作文や資料等の内容、授業中の行動観察（発言内容やコミュニケーションに対する意欲、場面や状況を考えた表現の活用等）を、観点別（「評価の観点」の項目参照）に評価します。</p>	実施テスト	
		1学期末	8月実力
		2学期末	1月実力
		学年末	

学習の方法と流れ	<p>○授業開始時に「本時のめあて」を確認、授業終盤で「本時のまとめ」をします。</p> <p>○「常活動」や「本時の中心となる学習」を通して、Key Sentence(新しい表現形式を使った文)を復習したり、理解と定着を図ったりします。聞く・話す・読む・書くなど、自分の課題を意識しながら取り組みましょう。</p> <p>●「リスニングテスト」： 学習した表現形式を含んだ会話やスピーチを聞き取る力を見とります。</p> <p>●「単元テスト」： 新出単語やKey Sentence、新しい表現形式の理解度を見とります。</p>
----------	---

授業 進度 予定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	Unit 0 My Spring Vacation ～Unit 3 My Future Job	Let's Write 1 電話のメッセージへの返信（メール） ～Let's Listen 3 天気予報	
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	Unit 4 Homestay in the United States ～Unit 6 Research Your Topic	Let's Talk 4 買い物 ～Let's Listen 6 商品のコマーシャル	
	3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	Unit 7 World Heritage Sites ～Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第2学年	音楽	1	35	音楽・器楽：教育芸術社	コーラスフェスティバル（合唱曲集） 配付プリント ノート A1ドリル

学習の目標	【目標】	さまざまな音楽活動を通して、音楽を愛好する心情や豊かな情操を育み、表現することの喜びを味わう。
	【ポイント】	・学習規律の定着 ・音楽の基本的な技能を習得する ・音楽を愛好する心情を育てるため、幅広い音楽活動を経験する

評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表そう。
	思考力・表現力 判断力	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴こう。
	主体的に学習に 取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もう。

評価の方法	「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」は歌唱・器楽・鑑賞の実技テストや鑑賞プリント等で評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」は、授業中の態度や取り組み方、振り返りカードの内容と忘れ物等で評価する。		実施テスト	
			単元テスト	

学習の方法と流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習確認</li> <li>・本時のめあての確認</li> <li>・「歌唱」正確な音程の把握→音符・記号の読み取り→表現の工夫</li> <li>・「器楽」基本的な技能の習得→音符の読み、音階の確認→美しい音色で演奏できるよう工夫する</li> <li>・「鑑賞」曲の情景や作曲者の心情を感じ取る、作曲家や時代背景を知る</li> <li>・「創作」音符・記号・音階を学習し、簡単な旋律をつくる</li> <li>・本時の学習の反省</li> </ul>
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト（6月）		1学期末テスト～1学期終業		夏季休業中の宿題	
	「歌唱」	校歌 長崎市歌 夢の世界を 夏の思い出	「歌唱」	合唱コンクールの楽曲	合唱コンクールの曲の練習	
	「器楽」	アルトリコーダーLesson2				
	2学期始業～2学期末テスト（11月）		2学期末テスト～2学期終業		冬季休業中の宿題	
	「歌唱」	合唱コンクールの曲	「歌唱」	サンタルチア	クラシック曲の音楽鑑賞	
	「鑑賞」	フーガ ト短調	「鑑賞」	交響曲第5番		
3学期始業～学年末テスト（2月）		学年末テスト～3学期修了まで		春季休業中の宿題		
「歌唱」	荒城の月	「創作」	マイメロディー	なし		
「器楽」	アルトリコーダーLesson3					
「鑑賞」	オペラ 歌舞伎					



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第2学年	家庭分野	1	35	東京書籍	A1ドリル 配布プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	<p>①家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活の自立に必要な基礎的内容を理解し、それらに係る技能を身に付けよう。</p> <p>②家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養おう。</p> <p>③身に付けた資質・能力を活用し、自分と家族、家庭生活と地域との関わりを見つめ直し、協働して生活を工夫しようとする実践的な態度を養おう。</p>
	【ポイント】	<p>①授業のけじめをつける。聞く・書く・考える・実習のけじめをつけよう</p> <p>②ノートはきちんととる。板書事項は必ずノートにとり、プリントは貼りましょう</p> <p>③製作・実習の計画は綿密に。必要な道具や材料、行程など細部にわたって計画を立てましょう</p> <p>④製作・実習は安全に気をつける。机上の整理をし、計画的かつ安全に勧めましょう。</p> <p>⑤定期考査・小テストは計画的に。教科書やノートを見直し、知識の定着を図りましょう。</p> <p>⑥生活に活かす。学習したことを自分の生活に活かしましょう。「生きる力」につながります。</p>

評価の観点	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しよう。

評価の方法	<p>・1, 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</p> <p>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</p> <p>・右記のテスト成績、実技実習の技能、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)、レポートによる表現力、家庭での実践での内容から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</p>	実施テスト	
		1学期末	2学期末

学習の方法と流れ	<p>① 2分前黙想    ② 本時の授業の流れ確認    ③ 本日のめあての確認</p> <p>④ 授業内容 課題の把握、解決や改善のための考察、実習&lt;実践&gt;または、言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の発見、把握</li> <li>・課題解決や改善のための考察</li> <li>・実習&lt;実践&gt;または言語活動&lt;自分の考えを伝える・アドバイスするなど&gt;</li> </ul> <p>⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。</p> <p>*学校で学習したこと、やったことを活用し、家庭で実践する。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。</p>
----------	---

授業進度予定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	<p>【衣生活】 目的に応じた衣服の選択 日常食の手入れと保管 生活を豊かにする物の製作</p>	<p>【衣生活】 持続可能な衣生活 【住生活】 住まいのはたらきとこちよさ 安全な住まいで安心な暮らし</p>	<p>・昼食づくり(実践とレポート)</p>
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	<p>【住生活】 安全な住まいで安心な暮らし 持続可能な住生活 【消費生活】 家庭生活と消費</p>	<p>【消費生活】 購入・支払いと生活情報</p>	<p>・衣食住についての課題と実践</p>
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	<p>【消費生活】 購入・支払いと生活情報 生活の課題と実践</p>	<p>【消費生活】 持続可能な社会</p>	<p>・家の手伝いをする</p>



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第2学年	技術分野	1	35	東京書籍 新しい技術・家庭 技術分野	配付プリント A1ドリル

学習の目標	【目標】	① 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ② 生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
	【ポイント】	① 授業の約束三カ条を徹底しよう。      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ めあてとまとめを常に意識しよう。 ④ 実習は、自分自身と周囲の安全に十分心がける。      ⑤ 観察実験の気づき・疑問、そして考察を文章で書けるようになるよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。      ⑦ 提出物は期限を守ろう。      ⑧ 工具・機械・PCは大切に扱おう。

評価の観点	知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	思考力・表現力 判断力	生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実習の技能、プリントの記述内容、授業中の発言内容や行動観察（含：宿題）から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
		1学期末	2学期末

学習の方法と流れ	① 2分前着席・1分間黙想    ② 忘れ物確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容：実習・観察・整理 *観察・実習方法を予習しておくが良い。 ⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ 演習等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 ⑦ 実習等の遅れが出た場合、技術室やPC室に教師がつける場合は、昼休みや放課後に作業を行い遅れを取り戻す。  *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行う。
----------	--

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	【情報】 ○デジタル作品の設計・制作	【情報】 ○コンピュータと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	【生物育成】 ○生物を育てる技術の特徴 ○生物を育てるt眼の計画と管理	【エネルギー】 ○エネルギーの変換と利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>
3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題	
【エネルギー】 ○製作品の設計・製作	【エネルギー】 ○製作品の設計・製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第2学年	国語	4	140	国語：光村図書 書写：教育出版	国語ワーク 漢字練習ノート A1ドリル

学習の目標	【目標】	①語彙の習得、漢字・言葉のきまり等の学習を通し、適切に使っていく力を身につけよう。 ②伝え合う力を高め、思いやりや考えを広げたり深めたりする力を養おう。 ③言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする力を高めよう。			
	【ポイント】	① 授業中のけじめ (聞く・書く・考えるの区別)      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ わからない言葉は辞書を引く習慣をつけよう。      ⑤ 毎日、音読をしよう。      ⑥ 提出物は期限を守ろう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)      ⑦ 質の良い本を選んで、積極的に読書をしよう。			

評価の観点	知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使おう。 (発表・小テスト・ペーパーテスト・ノート・ワーク 等)
	思考力・表現力 判断力	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしよう。 (スピーチ・作文等の作品・発表・小テスト・ペーパーテスト・ノート・ワーク 等)
	主体的に学習に 取り組む態度	言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとするとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おう。(発表・小テスト・ノート・ワーク・提出物 等)

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果 (3段階：○・空欄・△) を基に、学期末の評定 (5段階：5・4・3・2・1) に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、小テスト成績、ノートの記述内容、授業中の発言内容や態度 (含：提出物) から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		1 学期末	2 学期末
		9月実力	1月実力
			学年末
		小テスト	

学習の方法と流れ	① 1分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容：読む活動・話す活動・聞く活動・書く活動・言語事項の確認 等 ⑤ まとめ 授業の振り返りをする。ワーク等で学習内容の定着を図る。 ⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行ってほしい。
----------	---

授業 進 度 予 定	1 学期始業～1 学期末テスト (6月)	1 学期末テスト～1 学期終業	夏季休業中の宿題
	アイスプラネット、枕草子、漢字1 熟語の構成、文法への扉1、書写	メディアを比べよう、短歌に親しむ、言葉の力、言葉1 類義語・対義語・多義語、書写、言葉を比べよう、読書を楽しむ、翻訳作品を読み比べよう	漢字ノート、書写、読書感想文 か人権作文
	2 学期始業～2 学期末テスト (11月)	2 学期末テスト～2 学期終業	冬季休業中の宿題
	盆土産、字のない葉書、書写、聞き上手になろう、表現を工夫して書こう、[推敲]表現の効果を考える、言葉2 敬語、書写、漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字、モアイは語る一地球の未来、思考のレッスン2 根拠の吟味、根拠の適切さを考えて書こう、漢字に親しもう4、[討論]異なる立場から考える	立場を尊重して話し合おう、音読を楽しもう 月夜の浜辺、音読を楽しもう 平家物語、扇の的「平家物語」から、仁和寺にある法師「徒然草」から、漢詩の風景、君は「最後の晩餐」を知っているか、書写、魅力を効果的に伝えよう	・漢字ノート
	3 学期始業～学年末テスト (2月)	学年末テスト～3 学期修了まで	春季休業中の宿題
漢字に親しもう5、文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。、研究の現場によるこそ、走れメロス、書写	漢字に親しもう6、文法への扉3 一字違いで大違い、構成や展開を工夫して書こう、言葉3 話し言葉と書き言葉、漢字3 送り仮名、国語の学びを振り返ろう、木、学習を振り返ろう、書写	なし	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第2学年	社会	3	105	教科書 東京書籍 地図帳 帝国書院	ノート・資料集 A1ドリル

学習の目標	【目標】	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ(聞く・書く・考えるの区別)      ② 今日のみあてを常に意識する。      ③ ノートをしっかりと取る。 ④ その日の授業内容を自分の言葉で説明できる      ⑤ 提出物は期限を守る。      ⑥ 教科書を読む。 ⑥ ワークを活用し、復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組む。

評価の観点	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめよう。
	思考力・表現力 判断力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論しよう。
	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しよう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2学期の成績は、各授業において、観点別の目標に達しているかどうかで(3段階:○・空欄・△)で評価し、学期ごとに評定(5段階:5・4・3・2・1)する。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定とする。</li> <li>・右記のテスト成績、小テスト・単元テストの成績、ノートの記述内容、授業中の発言内容や態度(含:提出物)、ワークの進行状況から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
			2学期末
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末
		小テスト	単元テスト

学習の方法と流れ	① 1分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容の理解と確認。 ⑤ まとめ 授業の振り返りをする。ワーク等で学習内容の定着を図る。 ⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行く。
----------	--

授業進度予定	1学期始業~1学期末テスト(6月)		1学期末テスト~1学期終業		夏季休業中の宿題
	地理	日本の地域的特色と地域区分 日本の諸地域(九州地方)	地理	日本の諸地域(中国・四国地方)	
	歴史		歴史	近世の日本 世界の動きと統一事業	
	2学期始業~2学期末テスト(11月)		2学期末テスト~2学期終業		冬季休業中の宿題
	地理	日本の諸地域(近畿地方)	地理	日本の諸地域(中部地方・関東地方)	
	歴史	近世の日本 江戸幕府の成立と対外政策	歴史	近世の日本 産業の発達と町人文化・幕府の政治の展開	
	3学期始業~学年末テスト(2月)		学年末テスト~3学期修了まで		春季休業中の宿題
	地理	日本の諸地域(東北地方・北海道地方)	地理	地域の在り方	
	歴史	近代の日本と世界 欧米における近代社会の成立とアジアの動き	歴史	近代の日本と世界 明治維新と近代国家の形成	





学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第2学年	数 学	3	105	大日本図書	AIドリル (chromebook) 配付プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ (聞く・書く・行動の区別)                      ② ノートをしっかりと取ろう。                      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ 毎日の学習で理解できなかった部分は、その日のうちに理解しよう。                      ⑤ 図形やグラフ等、細かい部分を意識して学習しよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)                      ⑦ 提出物は期限を守ろう。                      ⑧ テストの訂正ノートを作ろう。

評価の観点	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な原理や法則などを理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
	思考力・表現力 判断力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果 (3段階: ○・空欄・△) を基に、学期末の評定 (5段階: 5・4・3・2・1) に総括します。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>・右記のテスト成績、課題への取組方、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察 (含: 宿題) から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
			2学期末
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末
	単元テスト	小テスト	

学習の方法と流れ	① 2分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本時のめあての確認
	④ 授業内容: 導入・解法例・演習・発展学習・強化問題 単元問題演習: 小グループ内で教え合いながら、相互の学力向上を図る。 ⑤ まとめ 授業で分かったことを確認する。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ AIドリル等の問題で計算の正確性と速度を向上させる。 *欠席した場合は、その単元の学習内容を自主的に学習する。 *分からない問題がある場合に、どのように解決するのか、自分なりの方法を準備しておく。

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト (6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	1章 式の計算 2章 連立方程式 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	3章 1次関数 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク
	2学期始業~2学期末テスト (11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	3章 1次関数 4章 平行と合同 5章 三角形と四角形 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	5章 三角形と四角形 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク
	3学期始業~学年末テスト (2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	6章 データの比較と箱ひげ図 7章 確率 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	3年間のまとめ 総復習 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第2学年	美術	1	35	日本文教	ワークシート スケッチブック デザインセット A1ドリル

学習の目標	【目標】	①自分の意図に応じて、形や色、材料などを工夫して表すことができるようになる。 ②美術や美術文化についての見方や感じ方を広げよう。感じたこと、考えたことをもとに主題を決め、発想を広げよう。 ③表現や鑑賞などに一生懸命取り組むことで、美術の楽しさ、面白さを発見しよう。
	【ポイント】	・道具や材料を題材に合わせて、工夫して使用する。 ・たくさんアイデアスケッチをし、よりよいものを考えていく。 ・対象を捉える時、形や色、材料などに注目し、どんな感じがするかや、作者の意図や工夫を考える。 ・よりよい作品作りに向けて、自分で資料を集める。 ・忘れ物をしない。計画的に制作し、提出期限をしっかりと守る。

評価の観点	知識・技能	一対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。一表現方法を創意工夫し、創造的に表そう。
	思考力・表現力 判断力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>・作品、ワークシートの記述内容、小テスト、授業中の発言内容や行動観察（含：宿題）から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
		小テスト	

学習の方法と流れ	①2分前黙想 ②出欠確認、忘れ物や宿題の確認 ③前時の振り返り ④本時のめあての確認
	⑤授業内容：作品制作・鑑賞 【作品制作】描く活動・つくる活動がある。主題を考え、工夫をして表現する。途中で相互鑑賞し、よさを学び合うこともある。 【鑑賞】自分たちが作った作品の相互鑑賞会や美術家の作品鑑賞をする。感じたことを話し合ったり、よさを伝え合ったりする。 ⑥片付け、まとめ ＊発想を広げるためや、描くための参考になる画像資料は、自分で積極的に集めておくと、作品づくりがスムーズです。 ＊デザインセットには、筆をふくためのタオルを入れておきましょう。

授業進度予定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	オリエンテーション 比較鑑賞「主役を探そう」 版画「風景画～刷って出会う楽しさ～」	版画「風景画～刷って出会う楽しさ～」	デザイン「ポスター」
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	デザイン「今を生きる私へ」	デザイン「今を生きる私へ」 鑑賞「浮世絵はすごい」 「文化の出会いがもたらしたもの」	
	3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	工芸「つくって使って味わう工芸」（皮工芸）	工芸「つくって使って味わう工芸」（皮工芸）	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第2学年	保健体育	3	105	学研教育みらい	保健体育ノート A1ドリル

学習の目標	【目標】	①運動の合理的実践を通して、運動の楽しさやできた時の喜びを味わうとともに、技能を高めよう。 ②運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の発達を図ろう。 ③運動における競争や協同の経験を通して、公正、協力し事故の役割をはたし、安全に運動しよう。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ（2分前着席、1分前黙想） ② 分離令を心掛け、元気な挨拶をしよう ③ 本日のめあてを意識しよう ④ 自分の課題を見つけ、課題解決方法を考えよう。 ⑤ 仲間と協力し準備や片づけをしよう ⑥ 本日の目当てが達成できたか、班活動で確認しあい、アドバイスができるようにしよう。 ⑦カードやワークの提出物は確実にしよう

評価の観点	知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けよう。また、個人生活における健康—安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えよう。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もう。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実技の技能、カードの記述内容、授業中の発言内容や行動観察から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
		1 学期末	2 学期末
		学年末	

学習の方法と流れ	① 1分間黙想 ② 挨拶 ③ 出席確認・健康観察 ④ 本日のめあて確認 ⑤ ランニング・準備運動
	⑥ 授業内容：実技、観察、考察、（アドバイスや課題を再確認） 班活動、再度実技、班反省、カード記入
	⑦ まとめ（発表） ⑧ 整理運動 ⑨ 健康観察 ⑩挨拶

授業 進 度 予 定	1 学期始業～1 学期末テスト（6月）	1 学期末テスト～1 学期終業	夏季休業中の宿題
	陸上競技 短距離走とリレー 体づくり 保健	水泳 器械運動（マット運動）	
	2 学期始業～2 学期末テスト（11月）	2 学期末テスト～2 学期終業	冬季休業中の宿題
	柔道 バドミントン 保健	柔道 バドミントン	
	3 学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3 学期修了まで	春季休業中の宿題
	ソフトボール 器械運動（跳び箱運動） 保健	ソフトボール 器械運動（跳び箱運動） 保健・体育理論	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第2学年	理科	4	140	東京書籍	A1ドリル 配付プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	① 自然の事物・現象について、日常生活との関連から興味関心を高め、理科を学ぶことの意義を実感しよう。 ② 観察・実験の基本操作を習得し、科学的に調べる方法を身に付け、結果から考察できる力と発表する力を養おう。 ③ 自然現象について理解を深め、知識を身に付け、科学的に探究する力を高めよう。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ (聞く・書く・行動の区別)                      ② ノートをしっかりと取ろう。                      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ 観察実験は、まず予想を立てて取り組もう。                      ⑤ 観察実験の気づき・疑問、そして考察を文章で書けるようになるよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)                      ⑦ 提出物は期限を守ろう。                      ⑧ 理科室の機器は大切に扱おう。

評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な事項や原理・法則を理解し、科学的に探究するために、観察や実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けよう。(発言・記述内容・行動観察・パフォーマンステスト・ペーパーテスト・宿題 等)
	思考力・表現力 判断力	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しを持って観察実験を行い、得られた結果を分析し解釈し、表現するなど科学的に探究しよう。(発言・ノート記述内容・ワークシート・ペーパーテスト・レポート作成 等)
	主体的に学習に 取り組む態度	自然の事物・現象に進ん関わり、見通しを持って振り返ったりするなど科学的に探究しよう。(発言・ノート記述内容・ワークシート・行動観察・宿題 等)

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実験観察の技能、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		4月実力	2学期末
		1学期末	1月実力
		9月実力	学年末
		小テスト	単元テスト

学習の方法と流れ	<p>① 2分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本日のめあての確認</p> <p>④ 授業内容: 実習・観察・実験・計算練習・整理 *観察・実験方法を予習しておく和良好的。</p> <p>【観察・実験】(理科室) 自然の事物現象について、体験的に学習する。</p> <p>【観察・実験の結果】結果をグループで整理する。→【観察・実験の考察】まず個人で考察し、グループや学級でディスカッションする。</p> <p>⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。</p> <p>⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。(次の時間: 答え合わせ)</p> <p>*欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行ってほしい。</p>
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	1章: 物質の成り立ち 【化学】 2章: 物質どうしの化学変化 3章: 酸素がかかわる化学変化 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	4章: 化学変化と物質の質量 【化学】 5章: 化学変化とその利用 【生物】 1章: 生物と細胞 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	・ワーク ・自由研究 ・1学期の復習: プリント
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	2章: 植物のからだのつくりとはたらき 【生物】 3章: 動物のからだのつくりとはたらき 4章: 刺激と反応 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	1章: 気象の観測 【地学】 2章: 雲のでき方と前線 3章: 大気の動きと日本の天気 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	・ワーク ・2学期の復習: プリント
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	1章: 静電気と電流 【物理】 2章: 電流の性質 3章: 電流と磁界 演習問題・小テスト	ワークを完全に仕上げる 1年間の復習 単元のまとめ・単元テスト	・ワーク(解き直し) ・1年間の復習: プリント *4月の実力テストに向けて



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第3学年	英語	4	140	東京書籍	A1ドリル 配付プリントファイル 授業用ノート

学習の目標	【目標】	<p>1. はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。</p> <p>2. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。</p> <p>3. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。</p> <p>4. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p> <p>5. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができる。</p>
	【ポイント】	<p>&lt;聞くこと&gt;必要な情報→聞き取る、話の概要→聞き取る、説明の要点→捉える</p> <p>&lt;話すこと（やり取り）&gt;関心のある事柄→即興で伝え合う、日常的な話題→考えや気持ちを整理して質問に答える、社会的な話題→考えたことや感じたことを述べ合う</p> <p>&lt;話すこと（発表）&gt;関心のある事柄→即興で話す、日常的な話題→考えや気持ちを整理して話す、社会的な話題→考えたことや感じたことを話す</p> <p>&lt;読むこと&gt;簡単な語句や文で書かれたものの必要な情報→読み取る、日常的な話題について短い文章の概要→捉える、社会的な話題について短い文章の要点→捉える</p> <p>&lt;書くこと&gt;関心のある事柄→正確に書く、日常的な話題→考えや気持ちを整理して書く、社会的な話題→考えや気持ち、理由を書く</p>

評価の観点	知識・技能	<p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解しよう。</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けよう。</p>
	思考力・表現力 判断力	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしよう。</p>
	主体的に学習に取り組む態度	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう。</p>

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実験観察の技能、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察（含：宿題）から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
		4月実力	2学期末
		1学期末	学年末
		9月実力	
		10月実力	

学習の方法と流れ	<p>① 2分前黙想    ② 本日のめあての確認</p> <p>③ 授業内容：目標文の確認、練習、単語・本文の読むこと・内容確認、目標文を用いた話すこと・書くこと</p> <p>④ まとめ 目標文の含まれたやや長い英文のリスニング。目標文を用いたスピーチなど。</p> <p>⑤ 目標文・単語などの確認テスト。</p>
----------	--

授業進度予定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages ～学び方コーナー②	Stage Activity 1 My Activity Report ～Let' s Listen 3 ラジオの災害情報	
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	Unit 4 Be Prepared and Work Together ～Stage Activity 2 Discover Japan	Let' s Listen 5 世界で働く人へのインタビュー ～Unit 6 Beyond Borders	
	3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	Unit 6 Beyond Borders ～学び方コーナー③	Let' s Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第3学年	音楽	1	35	音楽・器楽：教育芸術社	コーラスフェスティバル（合唱曲集） 配付プリント ノート A1ドリル

学習の目標	【目標】	さまざまな音楽活動を通して、音楽を愛好する心情や豊かな情操を育み、表現することの喜びを味わう。
	【ポイント】	・学習規律の定着 ・音楽の基本的な技能を習得する ・音楽を愛好する心情を育てるため、幅広い音楽活動を経験する

評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表そう。
	思考力・表現力 判断力	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴こう。
	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もう。

評価の方法	「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」は歌唱・器楽・鑑賞の実技テストや鑑賞プリント等で評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」は、授業中の態度や取り組み方、振り返りカードの内容と忘れ物等で評価する。	実施テスト	
		単元テスト	

学習の方法と流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習確認</li> <li>・本時のめあての確認</li> <li>・「歌唱」正確な音程の把握→音符・記号の読み取り→表現の工夫</li> <li>・「器楽」基本的な技能の習得→音符の読み、音階の確認→美しい音色で演奏できるよう工夫する</li> <li>・「鑑賞」曲の情景や作曲者の心情を感じ取る、作曲家や時代背景を知る</li> <li>・「創作」音符・記号・音階を学習し、簡単な旋律をつくる</li> <li>・本時の学習の反省</li> </ul>
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	「歌唱」 花 「器楽」 ARアンサンブル	「歌唱」 合唱コンクールの楽曲	合唱コンクールの楽曲の練習
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	「歌唱」 合唱コンクールの曲 「鑑賞」 ブルタバ	「歌唱」 帰れソレントへ 「鑑賞」 世界の諸民族の音楽	クラシック曲の音楽鑑賞
	3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	「器楽」 ARアンサンブル 「鑑賞」 巣鶴鈴慕	「創作」 マイメロディー 「歌唱」 卒業式歌	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第3学年	家庭分野	0.5	17.5	東京書籍	A1ドリル 配布プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	<p>①家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活の自立に必要な基礎的内容を理解し、それらに係る技能を身に付けよう。</p> <p>②家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養おう。</p> <p>③身に付けた資質・能力を活用し、自分と家族、家庭生活と地域との関わりを見つめ直し、協働して生活を工夫しようとする実践的な態度を養おう。</p>
	【ポイント】	<p>①授業のけじめをつける。聞く・書く・考える・実習のけじめをつけましょう</p> <p>②ノートはきちんととる。板書事項は必ずノートにとり、プリントは貼りましょう</p> <p>③製作・実習の計画は綿密に。必要な道具や材料、行程など細部にわたって計画を立てましょう</p> <p>④製作・実習は安全に気をつける。机上の整理をし、計画的かつ安全に勧めましょう。</p> <p>⑤定期考査・小テストは計画的に。教科書やノートを見直し、知識の定着を図りましょう。</p> <p>⑥生活に活かす。学習したことを自分の生活に活かしましょう。「生きる力」につながります。</p>

評価の観点	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しよう。

評価の方法	<p>・1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</p> <p>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</p> <p>・右記のテスト成績、実技実習の技能、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察（含：宿題）、レポートによる表現力、家庭での実践での内容から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</p>	実施テスト	
		10月実力	

学習の方法と流れ	① 2分前黙想    ② 本時の授業の流れ確認    ③ 本日のめあての確認
	<p>④ 授業内容 課題の把握、解決や改善のための考察、実習&lt;実践&gt;または、言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の発見、把握</li> <li>・課題解決や改善のための考察</li> <li>・実習&lt;実践&gt;または言語活動&lt;自分の考えを伝える・アドバイスするなど&gt;</li> </ul> <p>⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。</p> <p>*学校で学習したこと、やったことを活用し、家庭で実践する。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。</p>

授業 進 度 予 定	1 学期始業～1 学期末テスト（6月）	1 学期末テスト～1 学期終業	夏季休業中の宿題
	【家族・家庭生活】 幼児の生活と家族	【家族・家庭生活】 幼児の生活と家族	
	2 学期始業～2 学期末テスト（11月）	2 学期末テスト～2 学期終業	冬季休業中の宿題
	【家族・家庭生活】 幼児との関わり 家庭生活と地域とのかかわり	【家族・家庭生活】 幼児との関わり 家庭生活と地域とのかかわり	
	3 学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3 学期修了まで	春季休業中の宿題
	【家族・家庭生活】 持続可能な家庭生活	【家族・家庭生活】 3年間を振り返って	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第3学年	技術分野	0.5	17.5	東京書籍 新しい技術・家庭 技術分野	配付プリント A1ドリル

学習の目標	【目標】	① 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
	【ポイント】	① 授業の約束三カ条を徹底しよう。      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ めあてとまとめを常に意識しよう。 ④ 実習は、自分自身と周囲の安全に十分心がける。      ⑤ 観察実験の気づき・疑問、そして考察を文章で書けるようになるろう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。      ⑦ 提出物は期限を守ろう。      ⑧ 工具・機械・PCは大切に扱おう。

評価の観点	知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	思考力・表現力 判断力	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実習の技能、プリントの記述内容、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		1学期末	2学期末

学習の方法と流れ	① 2分前着席・1分間黙想    ② 忘れ物確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容:実習・観察・整理 *観察・実習方法を予習しておくが良い。 ⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ 演習等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 ⑦ 実習等の遅れが出た場合、技術室やPC室に教師がつける場合は、昼休みや放課後に作業を行い遅れを取り戻す。  *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行う。
----------	--

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	【情報】 ○デジタル作品の設計・製作	【情報】 ○コンピュータの使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	【情報】 ○コンピュータの使い方	【情報】 ○プログラムによる計測・制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
【情報】 ○プログラムによる計測・制御	【情報】 ○プログラムによる計測・制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日1回以上の家事手伝い。</li> <li>始業式に元気に登校してくること。</li> </ul>	





学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第3学年	国語	3	105	国語：光村図書 書写：教育出版	国語ワーク 漢字ワーク・便覧 A1ドリル

学習の目標	【目標】	①語彙の習得、漢字・言葉のきまり等の学習を通し、適切に使っていく力を身につけよう。 ②伝え合う力を高め、思いやりや考えを広げたり深めたりする力を養おう。 ③言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする力を高めよう。			
	【ポイント】	① 授業中のけじめ(聞く・書く・考えるの区別)      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ わからない言葉は辞書を引く習慣をつけよう。      ⑤ 毎日、音読をしよう。      ⑥ 提出物は期限を守ろう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)      ⑦ 質の良い本を選んで、積極的に読書をしよう。			

評価の観点	知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使おう。 (発表・小テスト・ペーパーテスト・ノート・ワーク 等)
	思考力・表現力 判断力	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしよう。 (スピーチ・作文等の作品・発表・小テスト・ペーパーテスト・ノート・ワーク 等)
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとするとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おう。(発表・小テスト・ノート・ワーク・提出物 等)

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階：○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階：5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>・右記のテスト成績、小テスト成績、ノートの記述内容、授業中の発言内容や態度(含：提出物)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		1学期末	10月実力
		9月実力	2学期末
			学年末
		小テスト	

学習の方法と流れ	① 1分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容：読む活動・話す活動・聞く活動・書く活動・言語事項の確認 等 ⑤ まとめ 授業の振り返りをする。ワーク等で学習内容の定着を図る。 ⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行ってほしい。
----------	---

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト(6月)	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	「世界はうつくしいと」「握手」「論語」 聞く    書く    「熟語の読み」 漢字 作られた「物語」を超えて    「思考のレ」 「説得力のある文章を考えよう」	「漢字に親しもう」    「文法への扉」 「実用的な文章を読もう」    「俳句の可能性」 「言葉を選ぼう」    「和語・漢語・外来語」 読書を親しむ    読書コラム 書写	・漢字ノート ・書写 ・読書感想文か人権作文
	2学期始業～2学期末テスト(11月)	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	「挨拶」「故郷」 書写    聞く 「論理の展開を整える」 慣用句・ことわざ 漢字    「人工知能との未来」 「多角的の分析して書こう」    「和歌の世界」    「おくの細道」	「誰かの代わりに」 「情報を読み取って文章を書こう」 漢字 文法    「本は世界への扉」    書写	
	3学期始業～学年末テスト(2月)	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	「温かいスープ」 「わたしを束ねないで」	「三年間の歩みを振り返ろう」 漢字 「学習を振り返ろう」 書写	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第3学年	社会	4	140	教科書 東京書籍 地図帳 帝国書院	ノート・資料集 A1ドリル

学習の目標	【目標】	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ（聞く・書く・考えるの区別） ② 今日のめあてを常に意識する。 ③ ノートをしっかりと取る。 ④ その日の授業内容を自分の言葉で説明できる。 ⑤ 提出物は期限を守る。 ⑥ 教科書を読む。 ⑥ ワークを活用し、復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組む。

評価の観点	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめよう。
	思考力・表現力 判断力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論しよう。
	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しよう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1. 2学期の成績は、各授業において、観点別の目標に達しているかどうかで（3段階：○・空欄・△）で評価し、学期ごとに評定（5段階：5・4・3・2・1）する。</li> <li>・学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定とする。</li> <li>・右記のテスト成績、小テスト・単元テストの成績、ノートの記述内容、授業中の発言内容や態度（含：提出物）、ワークの進行状況から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
			10月実力
		1学期末	2学期末
		9月実力	学年末
		小テスト	単元テスト

学習の方法と流れ	① 1分前黙想 ② 宿題確認 ③ 本日のめあての確認 ④ 授業内容の理解と確認。 ⑤ まとめ 授業の振り返りをする。ワーク等で学習内容の定着を図る。 ⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。 *欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行く。
----------	--

授業進捗予定	1学期始業～1学期末テスト（6月）	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	【歴史】 5章3節 日清・日露 6章 二度の大戦 7章 現在の日本	【公民】 1章 現代社会 2章 日本国憲法	ワーク 税の作文 など プリント
	2学期始業～2学期末テスト（11月）	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	【公民】 2章 日本国憲法 3章 現代の民主政治	【公民】 4章 経済	各自で今までの復習
3学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題	
【公民】 4章 公民 5章 地球社会	【公民】 よりよい社会を目指して 【地歴公】 今までの復習		



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物 (補助教材等)
第3学年	数 学	4	140	大日本図書	AIドリル (chromebook) 配付プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ (聞く・書く・行動の区別)      ② ノートをしっかりと取ろう。      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ 毎日の学習で理解できなかった部分は、その日のうちに理解しよう。      ⑤ 図形やグラフ等、細かい部分を意識して学習しよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)      ⑦ 提出物は期限を守ろう。      ⑧ テストの訂正ノートを作ろう。

評価の観点	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な原理や法則などを理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
	思考力・表現力 判断力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果 (3段階: ○・空欄・△) を基に、学期末の評定 (5段階: 5・4・3・2・1) に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、課題への取組方、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察 (含: 宿題) から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		単元テスト	2学期末
		1学期末	単元テスト
		9月実力	単元テスト
		10月実力	学年末

学習の方法と流れ	① 2分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本時のめあての確認
	④ 授業内容: 導入・解法例・演習・発展学習・強化問題 単元問題演習: 小グループ内で教え合いながら、相互の学力向上を図る。 ⑤ まとめ 授業で分かったことを確認する。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。 ⑥ AIドリル等の問題で計算の正確性と速度を向上させる。 * 欠席した場合は、その単元の学習内容を自主的に学習する。 * 分からない問題がある場合に、どのように解決するのか、自分なりの方法を準備しておく。

授業進度予定	1学期始業～1学期末テスト (6月)	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	1章 多項式 2章 平方根 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	3章 2次方程式 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク
	2学期始業～2学期末テスト (11月)	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	4章 関数 $y = ax^2$ 5章 相似な図形 6章 円 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	7章 三平方の定理 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	AIドリル ワーク
	3学期始業～学年末テスト (2月)	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	8章 標本調査 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	3年間のまとめ、総復習 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	無し



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第3学年	美術	1	35	日本文教	ワークシート スケッチブック デザインセット A1ドリル

学習の目標	【目標】	①自分の意図に応じて、形や色、材料などを工夫して表すことができるようになろう。 ②美術や美術文化についての見方や感じ方を広げよう。感じたこと、考えたことをもとに主題を決め、発想を広げよう。 ③表現や鑑賞などに一生懸命取り組むことで、美術の楽しさ、面白さを発見しよう。
	【ポイント】	・道具や材料を題材に合わせて、工夫して使用する。 ・たくさんアイデアスケッチをし、よりよいものを考えていく。 ・対象を捉える時、形や色、材料などに注目し、どんな感じがするかや、作者の意図や工夫を考える。 ・よりよい作品作りに向けて、自分で資料を集める。 ・忘れ物をしない。計画的に制作し、提出期限をしっかりと守る。

評価の観点	知識・技能	一対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。一表現方法を創意工夫し、創造的に表そう。
	思考力・表現力 判断力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めよう。
	主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>作品、ワークシートの記述内容、小テスト成績、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		小テスト	

学習の方法と流れ	①2分前黙想 ②出欠確認、忘れ物や宿題の確認 ③前時の振り返り ④本時のめあての確認
	⑤授業内容:作品制作・鑑賞 【作品制作】描く活動・つくる活動がある。主題を考え、工夫をして表現する。途中で相互鑑賞し、よさを学び合うこともある。 【鑑賞】自分たちが作った作品の相互鑑賞会や美術家の作品鑑賞をする。感じたことを話し合ったり、よさを伝え合ったりする。
	⑥片付け、まとめ *発想を広げるためや、描くための参考になる画像資料は、自分で積極的に集めておくと、作品づくりがスムーズです。 *デザインセットには、筆をふくためのタオルを入れておきましょう。

授業 進 度 予 定	1学期始業～1学期末テスト(6月)	1学期末テスト～1学期終業	夏季休業中の宿題
	工芸「レザークラフト」	水墨画「水と筆を操る」	デザイン「ポスター」
	2学期始業～2学期末テスト(11月)	2学期末テスト～2学期終業	冬季休業中の宿題
	水墨画「水と筆を操る」 鑑賞	木彫「オルゴールボックス」	なし
	3学期始業～学年末テスト(2月)	学年末テスト～3学期修了まで	春季休業中の宿題
	木彫「オルゴールボックス」	木彫「オルゴールボックス」 塗装 鑑賞	なし



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物（補助教材等）
第3学年	保健体育	3	105	学研教育みらい	保健体育ノート A1ドリル

学習の目標	<p>①運動の合理的実践を通して、運動の楽しさやできた時の喜びを味わうとともに、技能を高めよう。</p> <p>【目標】 ②運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の発達を図ろう。</p> <p>③運動における競争や協同の経験を通して、公正、協力し事故の役割をはたし、安全に運動しよう。</p>
	<p>① 授業中のけじめ（2分前着席、1分前黙想） ② 分離令を心掛け、元気な挨拶をしよう ③ 本日のめあてを意識しよう</p> <p>【ポイント】 ④ 自分の課題を見つけ、課題解決方法を考えよう。 ⑤ 仲間と協力し準備や片づけをしよう</p> <p>⑥ 本日の目当てが達成できたか、班活動で確認しあい、アドバイスができるようにしよう。 ⑦カードやワークの提出物は確実にしよう</p>

評価の観点	知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けよう。また、個人生活における健康—安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けよう。
	思考力・表現力 判断力	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えよう。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えよう。
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もう。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もう。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果（3段階：○・空欄・△）を基に、学期末の評定（5段階：5・4・3・2・1）に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実技の技能、カードの記述内容、授業中の発言内容や行動観察から、観点別に評価します。（観点の評価を参照）</li> </ul>	実施テスト	
		1 学期末	2 学期末
		学年末	

学習の方法と流れ	① 1分間黙想      ② 挨拶      ③ 出席確認・健康観察      ④ 本日のめあて確認      ⑤ ランニング・準備運動
	⑥ 授業内容：実技、観察、考察、（アドバイスや課題を再確認）      班活動、再度実技、班反省、カード記入
	⑦ まとめ（発表）      ⑧ 整理運動      ⑨ 健康観察      ⑩挨拶

授業 進 度 予 定	1 学期始業～1 学期末テスト（6月）	1 学期末テスト～1 学期終業	夏季休業中の宿題
	陸上競技 短距離走とリレー 体づくり	選択1 水泳 器械運動（マット運動） 陸上競技（ハードル走・走り幅跳び・短距離）	
	2 学期始業～2 学期末テスト（11月）	2 学期末テスト～2 学期終業	冬季休業中の宿題
	選択2 ハンドボール バレーボール 柔道	選択3 ハンドボール バレーボール 柔道・保健	
	3 学期始業～学年末テスト（2月）	学年末テスト～3 学期修了まで	春季休業中の宿題
	選択4 サッカー バスケットボール ダンス・保健	選択4 サッカー バスケットボール ダンス・保健・体育理論	



学年	教科名	時数/週	時数/年間	教科書	準備物(補助教材等)
第3学年	理科	4	140	東京書籍	A1ドリル 配付プリント 授業用ノート

学習の目標	【目標】	① 自然の事物・現象について、日常生活との関連から興味関心を高め、理科を学ぶことの意義を実感しよう。 ② 観察・実験の基本操作を習得し、科学的に調べる方法を身に付け、結果から考察できる力と発表する力を養おう。 ③ 自然現象について理解を深め、知識を身に付け、科学的に探究する力を高めよう。
	【ポイント】	① 授業中のけじめ(聞く・書く・行動の区別)                      ② ノートをしっかりと取ろう。                      ③ 今日のめあてを常に意識しよう。 ④ 観察実験は、まず予想を立てて取り組もう。                      ⑤ 観察実験の気づき・疑問、そして考察を文章で書けるようになるよう。 ⑥ 復習に力を入れ定期テストに向けて計画的に取り組もう。(ワーク等)                      ⑦ 提出物は期限を守ろう。                      ⑧ 理科室の機器は大切に扱おう。

評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な事項や原理・法則を理解し、科学的に探究するために、観察や実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けよう。(発言・記述内容・行動観察・パフォーマンステスト・ペーパーテスト・宿題 等)
	思考力・表現力 判断力	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しを持って観察実験を行い、得られた結果を分析し解釈し、表現するなど科学的に探究しよう。(発言・ノート記述内容・ワークシート・ペーパーテスト・レポート作成 等)
	主体的に学習に 取り組む態度	自然の事物・現象に進ん関わり、見通しを持って振り返ったりするなど科学的に探究しよう。(発言・ノート記述内容・ワークシート・行動観察・宿題 等)

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2学期の成績は、各授業において、観点別に評価した結果(3段階:○・空欄・△)を基に、学期末の評定(5段階:5・4・3・2・1)に総括します。</li> <li>学年末の成績は、各学期の観点別評価から学年末の観点別評価を出し、それを1年間の評定として総括します。</li> <li>右記のテスト成績、実験観察の技能、ノートの記述内容、授業中の発言内容や行動観察(含:宿題)から、観点別に評価します。(観点の評価を参照)</li> </ul>	実施テスト	
		4月実力	10月実力
		1学期末	2学期末
		9月実力	学年末
		小テスト	単元テスト

学習の方法と流れ	<p>① 2分前黙想    ② 宿題確認    ③ 本日のめあての確認</p> <p>④ 授業内容:実習・観察・実験・計算練習・整理 *観察・実験方法を予習しておくとう良い。</p> <p>【観察・実験】(理科室)自然の事物現象について、体験的に学習する。</p> <p>【観察・実験の結果】結果をグループで整理する。→【観察・実験の考察】まず個人で考察し、グループや学級でディスカッションする。</p> <p>⑤ まとめ 授業で分かったことをまとめる。そして、ワーク等で学習内容の定着を確認する。</p> <p>⑥ ワーク等の問題が終わらなかった場合は、宿題としてやってくる。(次の時間:答え合わせ)</p> <p>*欠席した場合は、自ら友人に教えてもらう。 *質問がある場合は、授業中はもちろん、昼休みなど積極的に行ってほしい。</p>
----------	--

授業 進 度 予 定	1学期始業~1学期末テスト(6月)	1学期末テスト~1学期終業	夏季休業中の宿題
	1章:水溶液とイオン 【化学】 2章:酸・アルカリとイオン 3章:化学変化と電池 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	1章:生物の成長と生殖 【生物】 2章:遺伝の規則性と遺伝子 3章:生物の多様性 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	・ワーク ・自由研究 ・1学期の復習:プリント
	2学期始業~2学期末テスト(11月)	2学期末テスト~2学期終業	冬季休業中の宿題
	1章:物体の運動 【物理】 2章:力のはたらき 3章:エネルギーと仕事 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	1章:地球の運動と天体の動き 【地学】 2章:月と金星の見え方 3章:宇宙の広がり 単元のまとめ・単元テスト・小テスト	・ワーク ・2学期の復習:プリント
	3学期始業~学年末テスト(2月)	学年末テスト~3学期修了まで	春季休業中の宿題
	1章:自然の中の生物 【地学】 2章:自然環境の調査と保全 【科学】 3章:科学技術と人間、持続可能な社会 演習問題・小テスト	入試対策演習 ワークを完全に仕上げる 1年間の復習 単元のまとめ・単元テスト	・ワーク(解き直し) ・1年間の復習:プリント *4月の実力テストに向けて